

ふるさとのいのちをつなぐ こうちプラン

—— 生物多様性こうち戦略 ——

【改訂版】



平成 31 年 3 月

高知県

はじめに

“生物多様性こうち戦略”が策定されてから5年が経過しようとしています。当初は、高知県内における生物多様性という言葉の認知度は僅か20%で、まずその言葉の意味を知ってもらうことに多くの努力を払わなくてはいけない状況でした。そこで、“生物多様性”とか、“戦略”とかという難しい言葉を避けて、戦略の表題を「ふるさとのいのちをつなぐこうちプラン」としました。さらに、「豊かな生きものの恵みを受けて美味しく楽しくずっと暮らそう高知県」というキャッチコピーで、戦略の目指すべき目標を分かりやすく訴えることにしました。その後、生物多様性という言葉は、マスコミで取り上げられる機会も増えてきたこともあり、私たちの生活は、多くの生きものが私たちに与えてくれる様々な恩恵によって支えられていることが、次第に理解されるようになってきました。戦略の進捗状況を確認するために行った昨年(平成30年)のアンケート調査では、“生物多様性”の認知度は62%に上昇し、目標であった50%を大きく上回りました。平成24年度から高等学校で理科生物の新課程教科書が使用されるようになりましたが、それには生物多様性に関する内容が豊富に盛り込まれていますので、今後、生物多様性の認知度は急速に上昇するでしょう。

生物多様性の認知度が上がる一方で、それが具体的な行動に結びついているかという点、必ずしもそうではありません。多くの県民が自然とかけ離れた生活をするようになり、自然の劣化に対する感受性が乏しくなってしまったことがその背景にあります。高知県における生物多様性の評価をみると、悪化している評価項目が改善している評価項目を大きく上回っています。高知県では極めて身近であった川の恵みであるアユやニホンウナギは大きく減少していますし、テナガエビ類は禁漁を余儀なくされるまでに激減してしまいました。このような自然の劣化は川だけにとどまらず、山や海でも進行していることが様々な指標の評価結果を見るとわかります。しかし、多くの県民はそれを他人事のように感じているようです。私たちの暮らしを支えている最も大切な基盤である自然の生態系が変質し、じわじわと崩壊の道筋を歩み始めていると感じ取ってもらうためには、自然に触れ、その大切さを改めて感じてもらうような機会の提供を進めなくてはなりませんし、劣化した自然を取り戻すための活動に参加してもらう機会の提供も重要となります。

今回改訂された戦略は、基本的には前戦略の内容を引き継いでいますが、5年間の変化に対応して修正を加えるとともに、新たな内容を書き加えています。第4章では、改訂版に“生物多様性こうち戦略推進リーダー”が使用できるテキストとしての機能も付加させようという意図で、生物多様性に関わる基本的事項の詳しい内容を書き加えました。第5章では、高知県の生物多様性に関わる指標の動向と評価を行い、高知県の山、川、里、海、まちの各エリアの課題を改めて整理するとともに、エリア横断的な課題を提示しました。第6章では、課題に対する新たな目標値を設定し、それらを達成するための具体的な行動計画を示しました。第7章では、戦略の推進に向けての役割分担と体制を示していますが、新たに“環境活動支援センターえこらぼ”と“生物多様性こうち戦略推進リーダー”を普及啓発の推進エンジンとして位置づけています。この「生物多様性こうち戦略(改訂版)」が、今後5年間の高知県の生物多様性保全を推進するための道標となります。関係する皆さんのみならず広く高知県民の皆さんの更なるご協力をお願いしたいと思います。

はじめに

第1章 高知の自然	1
1-1 地勢・気象・植生	1
1-1-1 地形・地質	1
1-1-2 気象	3
1-1-3 植生	5
1-1-4 本県の潜在的な自然環境の特徴	7
1-2 エリアの特性	8
1-2-1 山（奥山）	8
1-2-2 川	11
1-2-3 里	18
1-2-4 海	23
1-2-5 まち	28
1-3 森～川～里～海のつながり	31
第2章 高知の生きもの	35
2-1 山の生きもの	35
2-1-1 植物	35
2-1-2 動物	36
2-2 川の生きもの	38
2-2-1 溪畔林・河畔林	38
2-2-2 藻類・海草類	39
2-2-3 貝類	40
2-2-4 十脚甲殻類	41
2-2-5 魚類	42
2-2-6 両生類・爬虫類	43
2-2-7 鳥類	44
2-3 里の生きもの	46
2-3-1 植物	46
2-3-2 動物	47
2-4 海の生きもの	50
2-4-1 海岸植生	50
2-4-2 海藻類	51
2-4-3 サンゴ類	52
2-4-4 貝類	53
2-4-5 十脚甲殻類	55
2-4-6 魚類	56
2-4-7 爬虫類	57
2-4-8 鳥類	58
2-4-9 鯨類	59
2-5 まちの生きもの	61
2-5-1 植物	61
2-5-2 動物	62
第3章 高知の人の暮らし	63
3-1 高知県の農山漁村の現況と自然との関わり	63
3-1-1 農山漁村地域の現況	63
3-1-2 自然との関わり	67
3-2 生業（なりわい）	68
3-2-1 農業	68
3-2-2 林業	71
3-2-3 水産業	75

3-2-4 観光	78
3-2-5 伝統的な産業	79
3-3 伝統文化	83
3-3-1 食文化	83
3-3-2 祭祀など地域の伝統文化	86
第4章 戦略策定の意義	89
4-1 生物多様性とは	89
4-1-1 3つのレベルの多様性	90
4-1-2 生態系サービス	91
4-1-3 生きものが豊かである必要性	93
4-2 生物多様性の危機	94
4-2-1 4つの危機	94
4-2-2 進行する生物多様性の損失	96
4-2-3 生物多様性ホットスポット	97
4-3 国内外の動向	98
4-3-1 生物多様性条約と国家戦略	98
4-3-2 生物多様性基本法の施行	99
4-3-3 持続可能な開発目標 (SDGs)	99
4-4 本県における戦略策定の意義	101
第5章 高知県における生物多様性の評価と今後の課題	103
5-1 高知県の生物多様性の評価	103
5-2 各エリアの評価	105
5-3 4つの危機に対する高知県の課題	106
5-4 横断的な課題	109
第6章 こうち戦略行動計画	111
6-1 戦略の理念	111
6-2 将来目標と計画期間	112
6-3 行動計画	115
6-3-1 目標の達成状況	115
6-3-2 2023年度までの行動計画	117
PLAN 1 知る・広める	119
PLAN 2 つなげる	121
PLAN 3 守る	123
PLAN 4 活かす	128
第7章 戦略の推進	131
7-1 役割分担	131
7-1-1 実施主体	131
7-1-2 中間支援	134
7-2 推進体制	135
7-3 進捗管理	136
参考・引用文献	137
参考資料	
1 生物多様性こうち戦略改訂の体制及び経緯	141
2 原稿執筆者及び協力者	142
3 写真提供者及び引用元	143
4 生物多様性の保全に関わる環境関連法	144
5 用語集	149

